

「笑顔・自信・絆」のある学校
校訓 自主・心・健康



風見鶏

生徒数
1年生 103名
2年生 103名
3年生 95名
計 301名

瑞穂中だより
「1月号」
令和4年 1月11日発行

「大地を踏みしめる 瑞穂中！」

校長 豊田 康人

1月は、睦月。先月暮れに卒業生が親子で学校に訪れてくれた。恩師の命日で、お墓参りの帰りという。高校で野球を頑張っているという話を聞きながら、グローブを見せてもらった。私はこれを、「**魂のグローブ**」と呼ばせてもらった。早いもので2年の月日が経過した。



新しい年を迎え、前進するために「大地を踏みしめる」ことについて考えたい。1月9日(日)から大相撲初場所が始まった。初場所は、東京の両国の国技館で行われている。国技館で力士が相撲をとる土俵の土と

して使用されているのが埼玉県の「荒木田土」だ。私は、土俵の土を納入している川越の初野建材工業株式会社に訪問して、代表取締役の初野直樹様、営業部長の内田英明様にお話を伺った。究極は、「信用」をいかに築き上げる経営理念と感じた。そしてその実績が会社としての大きな「誇り」となっていることに胸がグルグル(埼玉の偉人、渋沢栄一公の表現)するのを覚えた。

大相撲で巨体の力士たちが、1日に何番も取り組み15日間熱戦が続く土俵。壊れず、肌荒れにもならない良質な土でなければならない。400年もの歴史ある相撲界で現在、選ばれているのが川越の「荒木田土」だ。採取した土は、半年間寝かせ水分を抜き、納入前に水分調節をする。さらに現地にて水分調節をしながら、内田さんの30年で培った触感で最終的な質の判断をされるという。まさに職人芸である。これを1月(初場所)、5月(夏場所)、9月(秋場所)で各場所の季節が違う気温、湿度の中で、「荒木田土」の品質を保って信用を築き上げたという。2016年からは、国技館だけでなく地方の本場所会場の土として「荒木田土」を使われるようになったそうだ。他には、プロ野球のマウンド、テニスコート、或いは建築業にも使われているという。まさに、「川越ブランドですね。」とお伝えしたら、「埼玉ブランドです」とお応えになった。



「人とのつながり」を大切にされ、質の高い仕事人が人を通じて広まり、会社の繁栄に繋がる。地元川越の「荒木田土」から、大地を踏みしめた埼玉の誇りを感じる。

瑞穂中を選び、学び、人として成長を続ける「チーム瑞穂」。「一年の計は元日にあり」という言葉があるように、令和4年、目標を持って大地を踏みしめ前に進みたい。この決意こそ、3学期に成長する原動力となる。そして新しいステージへの地盤が固まる。

「チーム瑞穂」は、新年も「**笑顔**」「**自信**」「**絆**」が溢れる学校を目指します。保護者の皆さま、御支援・御協力をお願いいたします。



10 成人の日	11 始業式	12 発育測定	13 時間割Ⅲ期開始 給食開始 専門委員会 完全下校17:00	14	15 英検一次	16
17	18	19	20	21	22 私立受験	23 私立受験集中日
24 私立受験集中日	25	26 5時間授業	27 読書ウィーク 開始	28	29 読書フェスティバル	30
31						
読書ウィーク 最終日						



12月には、合唱祭を筆頭に昨年できなかった授業や行事を積極的に行いました。調理実習や講演会、学年集会などを経て、終業式は“2年ぶり”に、全学年そろって行うことができました。そこで見えたのが、3年生が1.2年生を教え支える姿です。今まで学年ごとの活動が多かったにも関わらず、しっかりと学年を超えた絆を、生徒たちは育み深めていた姿がそこにありました。

3学期、集大成を迎える学期です。瑞穂中は歩みを止めず、生徒・教職員一人一人が夢への実現に向けて「**笑顔・自信・絆**」で躍進します。



わたしの
おススメ
1冊

今月の紹介者 < 高橋 眞由美 先生 さわやか相談員 >

『いま生きているという冒険』 石川 直樹 著

冒険の旅に出かける人は沢山いますが、石川さんは空・山・海と、ちょっとやそつとでは行けないような所へ行き、体験し、死と隣り合わせの時もしばしばだったそうです。そして物質に恵まれすぎている私たちとはと、考えさせられたりもします。

「それらの場所は私たちがもっている時間や空間の認識をくつがえしてしまう、ある特別な世界への通路としてひらかれている」だそうです。道の世界へ旅立ちたい
あなた！読んでみてくださいね。

日本一
読書のまち三郷

本校の教育活動は、ホームページでも御覧いただけます。

(<http://www.edu.city.misato.lg.jp/mizuhochu/>)

徳中の笑顔・自信・絆

あけましておめでとうございます。
 今年も生徒たちの活躍の場を発信します

今年実施した調理実習

2学年技術で育てた小松菜を使って、蒸しパン作りを行いました。生徒たちは、それぞれ学んだことを生かし調理をしていました。給食の時間に食べた蒸しパンの味は格別でした。



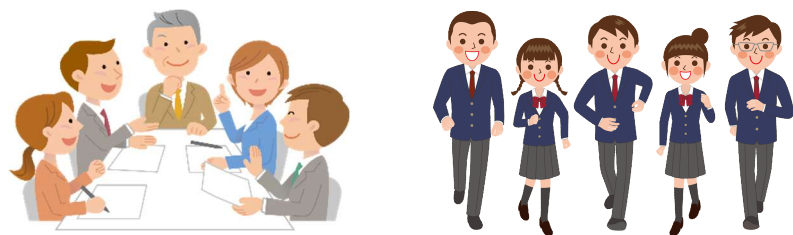
夢未来応援プロジェクト 12/3(金)

2 学年が参加した行事です。元プロ野球選手 今浪隆博氏を招き、「投げ方教室」と「講演」を行いました。前半の投げ方教室では学年の生徒が校庭でキャッチボールを行い、投げるポイントを教えてもらいました。後半の「講演」では、プロになるまでの道をお話いただきました。生徒にとっては、「夢」をかなえるには「技能」と「目標(夢)を持ち続けること」を学びました。



第2回学校評議員会 12/10(金)

第 2 回学校評議員会を開催しました。2 学期の学校教育活動の様子と 2 年ぶりに開催した合唱祭のVTR視聴そして委員からの貴重なご意見をいただきました。



新村教諭授業研究会 12/15(水)

新村教諭が 3 年 3 組にて「道徳」の授業研究を行いました。「2 通の手紙」を題材にし、「決まりの必要性」について生徒たちに授業を行いました。生徒たちは「決まりやルールがなぜあるのか」を考えていました。また、役割演技をさせ、いかに決まり事を守っていくかを身をもって体験させていました。



保護者会・授業参加 開催 1年 12/20(月) 2年 12/17(金)

学年保護者会及び授業参観を1・2年生で開催しました。2 つの学年とも、参加した保護者を少人数のグループにし、「教室での参観」と「リモートでの参観」に分け実施しました。保護者会では、2 学期の学年の取組を中心に担当教諭が話をしていました。コロナ禍の制限のある中ご協力していただきありがとうございました。(リモートの不具合申し訳ございませんでした。)



吹奏楽部クリスマスコンサート 12/18(土)

短い時間でしたが吹奏楽部クリスマスコンサートを開催しました。多くの保護者に参観していただきありがとうございます。

アンサンブルコンテストで演奏した楽曲から始まり、徐々に人数を増やし、最後は吹奏楽部全員でのノリノリの曲で終了しました。



子どもの健康を守る会 12/15(水)

ビヨンド・ザ・ボーダー株式会社(代表)安藤 亘先生をお招きし、「SOSの出し方」をテーマに、体育館にて本校の 2 学年の生徒とPTA保体委員会の方とともに学びました。また、リモートで 1・3 年生も学びました。



終業式 12/24(金)

79 日間の 2 学期を終え、無事に学校生活を送ることができました。2年ぶりに体育館にて全校生徒が集う終業式です。校長から「六つの精進」についてそして代表生徒からは2学期の学びと3学期に向けた力強い発表がありました。

修了式後、各教室にて、担任の先生から一人一人に「通知表」が配られ、生徒は一喜一憂していました。



表彰の記録

三郷市内読書感想文コンクール
 特選 1年 村上 敦基
 準特選 2年 高田 智照 篠田 紗良 竹中 未来
 埼玉県科学教育振興展覧会埼葛地区展
 金賞 1年 西海 直留
 環境ポスターコンクール
 三郷市議会議長賞 2年 渡辺 埜々杷
 「救急の日」絵画コンクール
 消防長賞 2年 田中 真羽
 税に関する中学生の標語
 三郷市長賞 3年 染谷 和樹
 三郷市教育長賞 3年 佐藤 七海
 三郷市 PTA 連合会主催三行詩コンクール
 教育長賞 2年 上原 朋貴
 発明創意工夫くふう展北葛支部展
 優秀賞 2年 宇佐美 朋陽

